

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物

Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



茨城県笠間市
が応援するふるさと名物

～日本有数の栗の里～

◎ 笠間の栗加工品群





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

平成28年5月16日

応援宣言

茨城県笠間市

地域の
プロフィール



【笠間稲荷神社】

笠間市は、東京から約100km、茨城県のほぼ中央部に位置し、県都水戸市に隣接しています。区域は、東西約19km、南北約20kmで、総面積は240.40km²です。

地勢は、市の北西部は八溝山系から連なる山々、南西部は愛宕山を中心とする丘陵地帯など、緑豊かな自然環境を有しており、これらに囲まれた平坦な台地に農業地域が形成されています。

産業は、水稻、果樹、花き、畜産などの農業を始め、各市街地における商業、工業団地に集積する工業、風土が育んだ窯業や石材業などの地場産業などが営まれています。

また、日本三大稲荷のひとつ笠間稲荷神社をはじめ歴史香る数々の名所旧跡を有し、伝統工芸である笠間焼、茨城県陶芸美術館、笠間日動美術館など、魅力ある観光資源が豊富にあり、歴史と芸術のまちとして多くの観光客が訪れています。

1

主な地域資源

■ 笠間の栗

笠間市では、米のほか、小菊や栗、梨、柿などの果樹の生産が盛んです。

特に栗は、全国一の栽培面積を誇る茨城県の中でも、一番の栽培面積であり全国有数の栗産地として知られています。

栗を販売目的で栽培する農家は、845戸となっており、栽培面積819ヘクタール、収穫量873トンで、栗の一大産地となっています。

■ 地域ブランドとしての笠間の栗

高品質な栗の生産と出荷を目指し、指定品種の奨励生産や品種別出荷などにも取り組んでいます。

また、栗の高付加価値化として、栗を一定期間冷蔵することにより糖度を向上させた「貯蔵栗」を開発し、地域ブランドとして定着させようと力を入れています。



品質にこだわる「かさまの栗」



甘みが引き出された「貯蔵栗」

2 ふるさと名物

■ 笠間の栗加工品群

笠間市では、栗の品質向上と販売促進の取組として、熱を通して形が崩れない品種や加工に適した品種の生産などに取組み、生産者、加工業者、菓子業者、飲食業者などの関係者が連携を強化し、栗を使った様々な加工品を製造、販売しています。

① 焼栗

厳選した栗を使用し、丁寧に焼いています。香ばしい栗の風味が、後を引く美味しさです。



② 栗ジャム

栗の素材を活かしコクのあるジャムに仕上げました。贈答品としても利用されるなど、人気があります。



③ 栗菓子

栗ペーストが流通されることにより、菓子店などで笠間をイメージした商品が開発され、栗の知名度アップに貢献しています。

栗甘納豆、ソフトクリーム、タルト、ケーキ、饅頭、栗どら焼き、栗羊羹などがあります。



笠間市の取り組み

1

独自の支援策



○各種補助事業

安定的な栗の生産と優良品種の生産拡大を図るため、苗木購入の補助や改植・造成、鳥獣害対策への補助を行っています。

○「かさまの粹（すい）」農産物認証制度

市内で生産される優れた農産物や加工品を、笠間市が自信を持って提供できる「かさまの粹」として認証されています。



○「笠間の栗」ロゴマーク

「笠間の栗」の知名度向上とブランド化を推進するため、武蔵野美術大学と連携して作成したロゴマークを使用しています。



笠間の栗

○かさま新栗まつり

笠間の栗を市内外にPRするため、毎年10月初旬に、栗や栗加工品の試食・販売、栗拾い体験、栗を使ったアイディアスイーツコンテストなどによる、「かさま新栗まつり」を開催しています。

2

関係機関・ 団体連携

■更に発展するための連携

○笠間の栗グレードアップ会議

日本一の栗産地を目指して、更なる栗のブランド化を図るため、県や農協などの関係機関や菓子店、生産者などで組織されており、高品質生産、商品開発、販売促進、PR活動などを実施しています。

○笠間市農産品ブランド化推進協議会

消費者に支持・信頼されるブランド農産品の創出に取り組み、栗をはじめとする笠間市産農産品のブランド化を図るため、県や農協、観光協会、商工会などの関係機関で組織されており、価値向上に資する事業を実施しています。

笠間市長からのメッセージ



本市は、豊かな自然にも恵まれ、栗や菊に代表される農産物の栽培及びその加工が盛んに行われているほか、都市と農村の交流によるグリーンツーリズムの推進を図るなど、観光農業にも力を注いでいます。

また、歴史を伝える数々の名所旧跡や茨城県立陶芸美術館、笠間日動美術館、伝統工芸である笠間焼などを有する歴史、文化・芸術が融合するまちです。

わたしたちは「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間～みんなで創る文化交流都市～」を将来像として掲げ、市民と行政の連携と協働による、地域ぐるみのまちづくりを推進しており、その実現のためには地域産業の振興を欠かすことはできません。

豊富な地域資源を通して笠間市の魅力を国内外へ広く情報発信し、農業をはじめとする地域産業のさらなる発展と、地域社会を担う人材の育成・確保を目的として、「笠間の栗」を、「ふるさと名物」として応援することをここに宣言いたします。

笠間市長 山口伸樹